

平成30年10月16日

戸田市文化スポーツ財団 御中

戸田市長 菅原 文仁

平成30年度 第三者モニタリング結果について（新曽南多世代交流館）

過日、実施いたしました標題の件について、評価者から報告がありましたので、下記及び別紙1のとおり通知します。

つきましては、ヒアリング時の助言や指摘、評価結果について、今後の指定管理業務に活用していただくとともに、別紙2に今後の対応等について記入していただき、通知日から30日以内に資産経営室に提出していただきますようお願いいたします。

4段階評価

評価ランク	個 数
S：優れている	4 / 56
A：標準的である	48 / 56
B：やや劣っている	4 / 56
C：早急な改善が必要である	0 / 56

2段階評価

評価ランク	個 数
A：適	15 / 16
C：不適	1 / 16

※ 上記の評価ランクは、あくまで評価項目に対する評価であり、指定管理者の適否を評価するものではありません

評価の詳細については、別紙1をご覧ください

〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

モニタリング評価シート【新曽南多世代交流館】

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(1)基本機能の発揮</b>					
1)設置目的および基本方針の理解	①施設長をはじめとする現場の管理者が、施設の設置目的を理解できている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書</li> <li>・ヒアリングによる確認</li> <li>・館内掲示やサイトでの公開</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C	子育て支援や高齢者の健康増進、多世代間の交流など施設の設置目的を理解されておられる。	全施設
	②施設の職員が、自分たちが掲げている基本方針を理解できている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
2)平等公平の確保	①施設の利用申し込みについて、特定団体に偏ることのないよう、対応ルールが整備されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用申し込みへの対応ルールの確認</li> <li>・現場チェック(バリアフリー状況)</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C	戸田市予約システムでの運用により、公平性は確保されている。ただ電話対応、来客対応についてのマニュアルを整備し、職員にシステムだけでなく、対応ルールを周知することが望まれる。	全施設
	②年齢や障がいの有無等に関わらず、あらゆる市民が利用しやすいように工夫を行っている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
3)適正な開館時間	①開館時間が、設置条例もしくは提案した内容のとおり運用されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書</li> <li>・出勤簿やタイムレコーダー記録</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C		全施設
	②閉館時間が、設置条例もしくは提案した内容のとおり運用されている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
4)指揮命令系統が明確な執行体制	①開館時間中は常に、運営管理全体の責任者や各業務の責任者が明確な組織体制となっている。(兼任体制、サブ責任者体制も可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書</li> <li>・ヒアリングによる確認</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C		全施設
	②実務を担当しない管理者階層よりも、実務に関わる者が中心となった機動的な組織である。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
5)適正な配置職員数	①配置人数が、仕様書および事業計画書のとおり運用されている。(当日人数ではなく記録を確認)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出勤簿やタイムレコーダー記録</li> <li>・現地調査時の目視確認</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C	当初の計画通りの人員数が担保されている。また柔軟な対応で、急な欠勤についてもカバーされておられた。	全施設
	②職員の入れ替えがあまり多くはなく、1年未満の経験が浅い職員は少ない。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		

【 指定管理者からのコメント】	【 特記事項 】 急な欠勤が出て責任者クラスが通し勤務を行うなど、適正な人員数を確保されていた。 開館して間もないことから、経験の浅い職員もいるものの少人数でオペレーションを行っていることから、円滑なコミュニケーションが取れている。一方で、人員配置の見直しには一定の配慮(業務マニュアル設置など)が必須であり、ぜひ議論を重ねていただきたい。
-----------------	--

〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(2)サービス水準</b>					
1)適切な受付対応	①施設職員が接客マニュアルを熟知している。 (マニュアルがない場合は、全員が同じ対応ができていないかを確認のこと)	・マニュアル内容の聞き取り確認 ・電話対応の覆面調査 ・受付対応の現地調査	S・ <b>(A)</b> ・B・C	建物の入り口から受付まで距離があり わかりにくく、受付に料金表やどんな 設備があるのかわかりづらいため、ポ ップなどの案内があるとなおよい。	全施設
	②電話での対応で施設名を明確に名乗り、ビジネスマナーにのっとった言葉使いを 行っている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
	③受付での対応が親切で、初めての来館者にもわかりやすいように説明している。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
2)指定管理事業の実施回数	①年間の指定管理事業実施回数が、仕様書での要求水準に比べ同等レベルになっ ている。	・年間実施回数(仕様書と事業報 告書の比較確認)	S・ <b>(A)</b> ・B・C		全施設
	②事業計画書で提案した指定管理事業の実施回数と、同様レベルになっている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
3)指定管理事業のバラン ス	①指定管理事業の対象者や実施テーマ等に、大きく偏りがみられない。	・事業計画書 ・事業報告書 ・ヒアリングによる確認	S・ <b>(A)</b> ・B・C		全施設
	②事業計画書で提案した指定管理事業の内容と、同等レベルになっている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
4)自主事業の実施	①年間の自主事業実施回数が、当初の提案内容と同様レベルになっている。	・事業報告書 ・ヒアリングによる確認	S・ <b>(A)</b> ・B・C	催事のチラシや掲示物に「自主事業」 と明記されているが、利用者がわかり やすい表記に変更されるとなおよい。	全施設
	②自主事業の対象者や実施テーマ等に、大きく偏りがみられない。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
5)工賃の推移	①作業領域の拡大や製品の開発等に努めており、作業工賃も上昇傾向にある。	・事業報告書 ・ヒアリングによる確認 ・現場チェック	S・A・B・C		福祉作業所
	②それぞれの個性に合わせた作業指導ができるよう、工夫が行われている。		S・A・B・C		
6)職員研修等の実施	①施設職員の資質向上に必要な職員研修を、年1回以上行っている。	・研修報告書等	S・A・ <b>(B)</b> ・C	定期的(最低年1回)に研修を行う仕 組みになっておらず、受講する職員に も偏りが見られる。	全施設
	②研修参加者が特定職員に偏っておらず、全員の資質向上に資する仕組みとなっ ている。		S・A・ <b>(B)</b> ・C		
7)提案事項の遵守	①事業実施以外のサービス向上策等について、当初の事業計画書で提案したことが 着実に実現されている。	・事業計画書 ・事業報告書 ・ヒアリングによる確認	S・ <b>(A)</b> ・B・C		全施設

<b>【 指定管理者からのコメント】</b>	<b>【 特記事項 】</b> 建物の構造上、新規の利用者が戸惑う可能性が高いと考えられるので、受付へ誘導する掲示物などの貼付を実施 いただきたい。加えて、簡単な料金表を作成するなど利用者が窓口で予約を取りやすくする工夫を加えていただ きたい。 少ない人員という利点を活かし、課内打合せを兼ねて全体研修を行うなど精鋭化を図るとともに、報告書にまと め、日の浅い職員に情報共有しやすい環境を整えていただきたい。
------------------------	---

〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(3)利用者数向上への取り組み</b>					
1)利用者数の推移	①施設の利用者数が、事業計画書で提案したものと同等レベルかそれ以上で推移している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書</li> <li>・ヒアリングによる確認</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C	サークルメンバー募集の掲示板について、様式を統一し、見やすくするなど利用者増加のための細かな工夫がなされている。	福祉施設、学童保育室を除く
	②利用者数が前年よりも伸びるように、きめ細かい工夫がなされている。		<b>(S)</b> ・A・B・C		
	③利用者数が例年と同等かそれ以上に推移している。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
2)稼働率の推移	①施設の稼働率が、事業計画書で提案したものと同等レベルかそれ以上で推移している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C	稼働率の差を見逃さず、アンケートと合わせ利用者のニーズを把握することができている。	福祉施設、学童保育室を除く
	②稼働率が前年よりも伸びるように、または高い水準で安定するように、きめ細かい工夫がなされている。		<b>(S)</b> ・A・B・C		
3)きめ細かい情報発信	①パンフレットやウェブサイト等で、施設の利用方法や利用料金等について、分かりやすく情報を発信している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書</li> <li>・ウェブサイトや広報物の確認</li> <li>・現地確認</li> </ul>	S・A・B・C	/	福祉施設、学童保育室
	②日々の活動内容等がわかるように、利用者(もしくは家族)に継続的に情報が提供されている。		S・A・B・C		
4)積極的な広報活動	①施設や事業について、市の広報誌以外の多彩な方法で広報を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書</li> <li>・ヒアリングによる確認</li> <li>・ウェブサイトや広報物の確認</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C	市の広報誌やウェブサイト、SNSが中心だが、独自の発信ツールを整備しこまめに更新することで、市民に対する露出度の向上が求められる。	福祉施設、学童保育室を除く
	②パンフレットやウェブサイト等で、施設の利用方法や利用料金等について、分かりやすく情報を発信している。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		

【 指定管理者からのコメント】

【 特記事項 】

鏡の付いていなかった多目的室に鏡をつけるなど、稼働率の違いから利用者のニーズをくみ取り、利用者数・稼働率の向上に成功するなど感度が高く、きめ細かい工夫がなされている。

一方で、施設の露出度を上げる「情報発信」など広報戦略を今以上に練りこんでいただきたい。立地的に掲示物や看板・のぼりの設置のような物理的な広報だけでは、費用対効果が上がらないと考えられるが、SNSやウェブサイトの充実を図る必要がある。SNSなどの情報発信は自主事業の内容や「おすすめの駄菓子」など催事情報から日常の変化など多岐にわたるものが望まれる。

〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(4)利用者意見の反映</b>					
1)利用者意見の収集	①利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケート</li> <li>・個別面談記録等(福祉施設)</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C	アンケート以外にも、利用者が意見を伝えやすくなるような取り組みを実施していただきたい。	全施設
	②利用者が意見や要望を出しやすいよう、ご意見箱の設置やウェブサイトでの投稿ページの設置などに取り組んでいる。		S・A・ <b>(B)</b> ・C		
	③アンケート以外で寄せられた問い合わせや要望を、利用者からの意見として吸い上げる仕組みがある。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
2)利用者満足度の高い運営利用者意見を反映させる仕組み	①利用者アンケートにおいて、回答者の60%以上が全項目で満足(とてもよい・よい)と回答している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施済みアンケート</li> <li>・会議議事録</li> <li>・ヒアリングによる確認</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C	鏡のなかった多目的室に鏡を設置するなど、日々の気づきから仮説を立て、アンケートで立証し、改善行動につなげられている。	福祉施設を除く
	②利用者アンケート等の調査結果を取りまとめ、課題の抽出と改善対応を行っている。		<b>(S)</b> ・A・B・C		
3)苦情やトラブルへの対応	①アンケートやご意見箱等に寄せられた苦情等について、対応方法が定められている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書</li> <li>・ヒアリングによる確認</li> </ul>	S・ <b>(A)</b> ・B・C		全施設
	②過去1年間で寄せられた苦情等に対し、適切に改善策が講じられている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		

<p><b>【 指定管理者からのコメント】</b></p>	<p><b>【 特記事項 】</b></p> <p>仮説をアンケートで検証・改善につなげるという、理想的な改善行動ができている。引き続き日々の業務の中から変化を見逃さない高い感度を持ち続けていただきたい。また、市民が気軽に意見や要望を出せるよう、「ご意見箱」を設置し、有効に運用していただきたい。</p>
-------------------------------	--

〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(5)適正な維持管理</b>					
1)建物・設備の管理	①仕様書や事業計画書の通りに、管理・点検が行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書と点検記録との突合</li> <li>・保守点検マニュアル</li> <li>・修繕記録</li> <li>・現場チェック</li> </ul>	S・ <b>A</b> ・B・C		全施設
	②目に見える損傷等がなく、利用者が安全に利用できる状態が保たれている。		S・ <b>A</b> ・B・C		
	③定期点検等で報告された不具合等が適切に処理されている。		S・ <b>A</b> ・B・C		
2)備品の管理	①備品台帳に記載されている備品が、全て揃っている。(3点以上を現物確認)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書と点検記録との突合</li> <li>・備品管理台帳</li> <li>・現場チェック</li> </ul>	<b>A</b> ・C		全施設
	②利用者への貸出備品等が、損傷なく適切に管理されている。(3点以上を現物確認)		S・ <b>A</b> ・B・C		
3)清掃状況等の管理 (植栽管理含む)	①仕様書や事業計画書の通りに、管理・点検が行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書と業務記録との突合</li> <li>・清掃マニュアル(あれば)</li> <li>・現場チェック</li> </ul>	S・ <b>A</b> ・B・C		全施設
	②目に見えるゴミ・汚れ、雑草や悪臭等がなく、美観が保たれている。		S・ <b>A</b> ・B・C		

【 指定管理者からのコメント】

【 特記事項 】

備品を収納している倉庫や押し入れはきちんと整理整頓されており、丁寧に管理されていた。市の備品以外に寄贈された物品も施設で利用されていたため、備品管理台帳とは別に管理台帳を作成しておくとなおよい。また、備品や寄贈された物品の貸出し台帳を作っておくことで、どんな遊具が人気なのか、どういった世代交流がなされているか、データを有効活用しさらなる実績につなげていただきたい。

〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(6)安全安心の確保</b>					
1)警備業務・施設巡回業務	①仕様書や事業計画書どおりに警備業務や施設巡回業務が行われている。	・巡回記録、警備記録 ・ヒアリングによる確認	S・ <b>(A)</b> ・B・C		全施設
	②各室の鍵について保管場所を定め、持出簿を活用するなど、適切に管理されている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
2)緊急時への備えや事故防止策	①緊急対応マニュアル等が整備されており、職員が内容を熟知している。	・マニュアル内容の聞き取り確認 ・避難訓練等の記録 ・AEDの点検記録(あれば)	S・ <b>(A)</b> ・B・C		全施設
	②緊急時の連絡体制が構築されており、避難訓練等を定期的に行っている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		
	③消火器やAED、緊急放送設備など、施設に設置されている緊急対应用備品が定期的に点検・整備されている。		S・ <b>(A)</b> ・B・C		

<b>【 指定管理者からのコメント】</b>	<b>【 特記事項 】</b> 庁舎の避難訓練に参加し、また消火器等の緊急対应用備品の保守点検なども庁舎と合同で整備している。
------------------------	--

〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(7)個人情報の保護</b>					
1)適切な取り扱い	①戸田市個人情報保護条例に基づいた個人情報保護マニュアル等が整備されており、職員が内容を熟知している。	・マニュアル内容の聞き取り確認 (存在確認では不可) ・現場チェック	S・ <b>A</b> ・B・C		全施設
	②利用者の個人情報は、鍵付きのキャビネットで保管するなど、適切な管理がなされている。		S・ <b>A</b> ・B・C		
2)職員の育成	①個人情報の取り扱いに関するマニュアルやルールについて、年1回以上、職員研修等の理解度向上に取り組んでいる。	研修報告書等	S・A・ <b>B</b> ・C	今後年に一回は研修会を開いていただきたい。	全施設

<b>【 指定管理者からのコメント 】</b>	<b>【 特記事項 】</b> 今後は個人情報の取り扱いについても年1回以上、職員研修会を開くなど理解度の向上に努めていただきたい。 その他にも、月に一度の課内打合せを上手に活用する形で各種研修を執り行い、派遣職員も含めた全員のサービスレベルの向上に努めていただきたい。
-------------------------	---

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(8)適正な会計事務の執行</b>					
1)適切な経理処理	①経費の出納帳への記載は、伝票に基づいて行われている。(3項目程度ランダムに実伝票を確認)	・伝票を現場でチェック ・出納簿を現場でチェック	<b>A</b> ・C	消耗品等の発注時、支払処理時には所長等の確認が必須となる体制ができており問題ない。	全施設
	②現金の取り扱いが発生する場合は、複数チェック体制が構築され、遵守されている。		<b>A</b> ・C		
2)専用口座での管理	①指定管理に関する経費等は、別段口座で管理され、帳簿類も明確に区分されている。	・通帳(コピー可)	S・ <b>A</b> ・B・C		全施設

<b>【 指定管理者からのコメント 】</b>	<b>【 特記事項 】</b>
-------------------------	-----------------



〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(9)収支状況</b>					
1)施設の収支決算状況	①赤字決算に陥っていない。	・事業報告書	A ・ C	さくらパル単体では赤字決算になっている。	全施設
	②予算と決算に大きな相違があった場合は、その相違の理由が適確である。		S ・ A ・ B ・ C		
2)費用削減の工夫	①利用者サービスの水準が低下しない範囲で、費用削減に取り組んでいる。	・ヒアリングで確認	S ・ A ・ B ・ C		福祉施設・学童保育室を除く
3)収入増加の工夫	①前年よりも収入が増加している。	・ヒアリングで確認	S ・ A ・ B ・ C	文化財団としての特徴を生かし、舞台セットを利用した駄菓子屋を設置するなど収入増加の工夫は行われている。施設収支の黒字化に向けて更なる取り組みが求められる。	利用料金制度の導入施設
	②利用者数の増加や稼働率の向上等に取り組み、収入増加を図っている。		S ・ A ・ B ・ C		
	③利用料収入以外の収入増加策に取り組み、収入の複線化を図っている。		S ・ A ・ B ・ C		
4)団体の収支決算状況	①経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増減額÷経常収益×100)がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	・ヒアリングで確認	A ・ C		全施設
	②借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。		A ・ C		
	③流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。		A ・ C		

<p><b>【 指定管理者からのコメント】</b></p>	<p><b>【 特記事項 】</b></p> <p>連結会計の内訳という位置付けの資料だけではなく、多世代交流館事業単体での計算書を作成いただくことが望ましい。</p> <p>さくらパル単体だと、3.2百万円ほど赤字になっているため、今後単体でも当期経常増減額を黒字にできるよう、利用者増加による収入増加・自主事業による収入増加・経費の削減に一層取り組んでいただきたい。</p>
-------------------------------	---

〔評価ランク〕  
 4段階評価 S…優れている A…標準的である B…やや劣っている C…早急な改善が必要である  
 2段階評価 A…適 C…不適 ※該当しない項目は評価不要

評価項目	評価基準	評価方法	評価		対象施設
			評価ランク	コメント	
<b>(10)その他</b>					
1) 関係法規等の遵守	①業務に従事する職員は関係法規等の習得が適切に行われているか。	・研修報告書等 ・ヒアリングで確認	Ⓐ	・ C	全施設
	②関係法規等の改正や管理上の各種取扱い通知等に的確に対応して取扱われているか。		Ⓐ	・ C	
2) 一括委託の禁止	①業務の一括委託などは行われていないか。	・委託契約書等の関係書類で確認	Ⓐ	・ C	全施設
3) 文書の管理・保存	①文書の管理・保存が適切に行われているか。	・戸田市文書管理規定等に基づいた文書の管理・保存がされているか確認	Ⓐ	・ C	全施設
4) 利用許可業務	①利用料金は適正に設定されているか。	・利用料金が市と協議した設定となっているか確認 ・関係書類により確認	Ⓐ	・ C	全施設
	②利用料金の減免の手続きは適正に行われているか。		Ⓐ	・ C	
5) 環境への配慮	①環境に配慮した管理運営が行われているか。	・省エネルギーやリサイクルの推進を努めているか関係書類や現状を確認する	Ⓐ	・ C	全施設
6) 保険への加入	①賠償保険に加入しているか	・保険証書等により賠償保険の保険内容等を確認する	Ⓐ	・ C	全施設
7) 業務実施の体制及び確実性の確立	①業務の処理過程におけるチェック機能は確保されているか	・業務処理を確認できる各種規程などにより確認する	Ⓐ	・ C	全施設

【 指定管理者からのコメント】

【 特記事項 】

(別紙2)

平成30年10月24日

(宛先)

戸田市長

指定管理事業者

(公財) 戸田市文化スポーツ財団

理事長 岩谷 務



平成30年度 第三者モニタリング結果を踏まえた今後の対応等について

過日、通知のあった平成30年度第三者モニタリング結果を踏まえた今後の対応等について、以下のとおり報告します。

今後の対応等

(2) サービス水準 6) 職員研修等の実施について

定期的な職員研修等については、財団全体の課題と捉え、検討してまいりたい。

当館としては、現在まで公益社団法人全国公立文化施設協会主催の研修等への参加を行っておりますが、引き続き情報収集に努めるべく、関連する議題の研修等には積極的に参加してまいりたい。また、研修後は、施設内派遣職員への情報共有を図ってまいります。

(4) 利用者意見の反映 1) 利用者意見の収集について

アンケート以外の、利用者意見を受け取るシステムは、ホームページからのメール投稿を行っており、引き続き継続してまいりたい。その他、利用者が意見や要望を出しやすい方策については、今後検討してまいりたい。

(7) 個人情報の保護 2) 職員の育成について

個人情報の保護については、職員間の共通理解を深めるべく、本保護規程の趣旨・責務・留意点・多団体の不適切事例などの周知を徹底してまいりたい。

(9) 収支状況 1) 施設の収支決算状況について

さくらパル単体での収支は、赤字決算となっておりますが、財団全体で公益法人会計での収支相償を満たしている状況である。単体での赤字を減らすべく、更なる収益事業等による収益の確保を検討してまいりたい。